

施策番号	0701		
施策名	それぞれの年齢や個性、環境に応じてスポーツやレクリエーションを楽しんでいるまちづくり（「するスポーツ」）		
概要	市民が、それぞれの年齢や個性、環境に応じて、スポーツやレクリエーションを楽しめるよう、施設の効果的・効率的な整備、機会や情報の提供、活動を支える人材の育成等を行う。		
担当局・部室	文化市民局・市民スポーツ振興室	共管局・部室	
上位政策	7 スポーツ		
施策に関係する主な分野別計画等	京都市市民スポーツ振興計画		

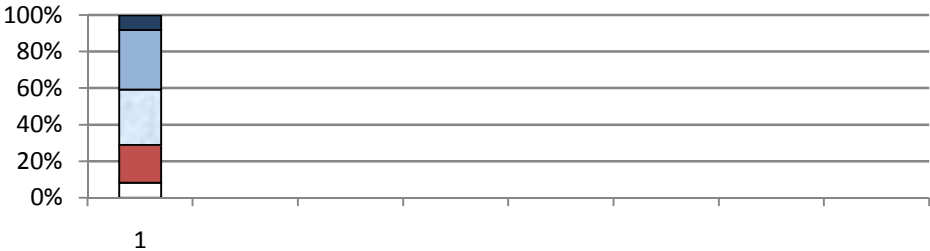
施策の評価

1 客観指標評価

指標名		年度	年度	23年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウェイト
1	本市スポーツ施設の利用件数(件)	-	-	327,875	329,719	335,000	98.4%	b	1.00
2	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
				客観指標総合評価				b	

2 市民生活実感評価 *この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		23年度回答					有効回答者数	評価
		そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない		
1	気軽に体を動かしたり、スポーツやレクリエーションを楽しんだりする機会がある。	43	175	163	111	44	536	c
		8.0%	32.6%	30.4%	20.7%	8.2%		
2	-							-
3	-							-
4	-							-
5	-							-
		市民生活実感調査総合評価						c



- そう思う
- どちらかと言うとそう思う
- どちらとも言えない
- どちらかと言うとそう思わない
- そう思わない

3 総合評価(客観指標総合評価＋市民生活実感調査総合評価)

C	施策の目的がそこそこ達成されている					年度	-
	重み付け	<input type="checkbox"/> 客観指標	b	<input checked="" type="checkbox"/> 市民の実感	c		
(重み付けの理由) 市民みずからスポーツを「楽しむ」ことが施策の目的であるため、市民の実感を重視する。						年度	-
(原因分析) ・客観指標については、市民のスポーツ実施率が増加傾向にある反面、多様なニーズに応じたスポーツ施設の不足や老朽化が指摘される状況の下、b評価となっている。 ・市民の実感からは、スポーツ等を気軽に楽しむ機会が広く認知される状態には至っていないことがうかがえる。						年度	-

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		23年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		22年度 決算額	23年度 予算額		
1	地域スポーツ振興事業	21,275	21,494	かなり良い	文化市民局
2	夜間校庭開放事業	29,691	35,769	かなり良い	文化市民局
3	京都市スポーツ表彰	5,412	5,553	良い	文化市民局
4	競技スポーツ強化振興事業	9,359	8,343	かなり良い	文化市民局
5	京都市体育館(ハンナリーズアリーナ)及び市民スポーツ会館	98,234	99,047	良い	文化市民局
6	西京極総合運動公園北側区域(陸上競技場兼球技場, 補助競技場, 野球場(わかさスタジアム京都))	139,113	95,363	普通	文化市民局
7	西京極総合運動公園プール施設(京都アクアリーナ)	151,470	120,032	かなり良い	文化市民局
8	武道センター	41,397	40,966	良い	文化市民局
9	横大路運動公園	51,454	48,000	良い	文化市民局
10	宝が池公園球技場及びその周辺区域	47,329	52,500	良い	文化市民局
11	有料運動公園	293,476	177,375	良い	文化市民局
12	地域体育館	253,532	246,762	良い	文化市民局
13	京北運動公園	4,916	5,192	普通	文化市民局
14	黒田トレーニングホール	408	480	悪い	文化市民局
15	京北パラグライダー施設	0	—	普通	文化市民局
16	水垂スポーツ拠点整備事業	0	—	—	文化市民局
17					
18					
19					
20					

* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・ハンナリーズアリーナの大規模改修をはじめとした施設改修

施策名	0701	それぞれの年齢や個性，環境に応じてスポーツやレクリエーションを楽しんでいるまちづくり（「するスポーツ」）					
指標名	本市スポーツ施設の利用件数（件）						
担当課	スポーツ企画課		連絡先	3 6 6－0 1 6 8			
1 指標の説明							
本市スポーツ施設の利用件数							
2 指標の意味							
市民が，それぞれの年齢や個性，環境に応じて，スポーツやレクリエーションを楽しめる機会の提供や施設整備により，スポーツやレクリエーションを楽しむことができることを示す指標							
3 算出方法・出典等							
出典：事業担当課調べ							
4 数値							
	前回数値	最新数値	推移	目標値			
	21年度	22年度		数値	根拠	達成度	
数値	327,875	329,719	1,844件増	335,000	21年度現況値(327,875件)と11年で約25%増の数値目標から各年度の増加目標を等比的に算出	98.4%	
	全国順位	中長期目標			備考		
		数値	目標年次	達成度			根拠
数値		400,000	32年度				京都市市民スポーツ振興計画
5 評価基準							
最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：80%以上～100%未満 c：60%以上～80%未満 d：40%以上～60%未満 e：40%未満							
6 基準説明							
当該指標については，目標達成以上をa，以下を20%刻みで基準を設定した。							
7 評価結果							
						23	
	-		-			b	